愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	松本 亜香里	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習Ⅲでの研究成果を踏まえ、これまで研究してきた自分のテーマを整理しまとめる。また、成果発表に向けて、研究成果をわかりやすく伝える方法と資料の作成方法を学ぶ。全体による対面授業と個別のオンライン授業とを併用させて研究指導を行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。各自の研究テーマにそって論文を執筆する過程で、ディスカッションやグループワークを用いて、各自の分析方法や考察内容を検討していく。また、卒業論文にまとめ完成させるとともに、その内容を効果的に発表する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション （授業説明、注意事項）	□
第2回	研究課題の確認（面談）	面談を行い前期研究の整理と後期研究課題の設定を行う。	□
第3回	研究課題の再面談（面談）	面談を行い後期研究課題の最終設定を行う。	□
第4回	研究課題の資料収集（図書）	各自の研究課題テーマに沿って図書から調査、資料収集を行う。	□
第5回	研究課題の資料収集（論文）	各自の研究課題テーマに沿って論文から調査、資料収集を行う。	□
第6回	資料収集に関する面談	課題テーマに沿って行った調査の資料をもとに面談を行う。	□
第7回	論文の計画	課題テーマに沿って論文計画を作成する。	□
第8回	中間発表	各自が研究課題テーマに沿って行った調査、研究の進歩状況を中間発表する。	□
第9回	中間発表後の面談	中間発表後の面談を行い論文作成や内容の再検討を行う。	□
第10回	論文の作成（面談）	課題テーマに沿って研究を進め論文の作成や作品製作を行う。	□
第11回	論文の作成・添削（面談）	課題テーマに沿って研究を進め、面談を交えながら論文の作成を行う。	□
第12回	事前発表練習	各自が研究課題テーマに沿って行った研究成果を事前発表し練習する。	□
第13回	論文概要の作成	各自の研究課題、テーマに沿って調査、研究を行ってきた内容を概要にまとめる。	□
第14回	論文概要の完成	各自の研究課題、テーマに沿って調査、研究を行ってきた内容を概要を完成する。	□
第15回	研究発表	これまでの研究の成果を論文もしくは作品で発表し、質疑応答に答える。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

これまでの調査・研究の成果をレポートとして提示できるように準備しておく（２時間）。授業内でのディスカッションや面談を通しての気づきや新たな課題についてまとめ直しをする（２時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

成果報告他、レポート課題を実施する。内容を確認後、より研究を深められるような助言や各種資料を提供する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	先行研究から得られた知見を適切に使用して、自分の議論を構築することができる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	調査から得た知見を使って、研究の問いに呼応する議論を行い、それを記述することができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	調査した内容を適切な方法や妥当な分析枠組みを選び出し、的確に分析することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

最終レポート、発表、ゼミ運営への貢献など

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業中に指示する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業中に指示する	
2		
3		
4		
5		